

編集後記

私が編集委員長になってすでに4年目です。その間、この欄で何度となくANMの変革を訴えてきました。本学会は日本学術振興会から毎年1000万円弱の科研費をいただきつつ、国際誌としての地位を築いてきました。日本学術振興会は、学術誌に対する科研費を前年度までの出版補助費としての費用から、今年度以降は国際競争力強化を全面に押し出した経費とする方針への転換を行いました。それにしたがって、昨秋、編集委員会の先生方と知恵を絞った調書を提出しました。4月末に、応募した多くの学会から選択されてヒアリングに呼ばれてきました。本号発行時にはその結果が明らかになっています。

調書を準備中にこの応募要領を読み深めるにつれ、以前から考えていた方向に間違いはないということを確認しました。その方向性は、すでにこの欄で皆さんにお伝えした通りです。ヒアリング時に同行していただいた井上理事長から、科研が通っても通らなくてもやるべきことは同じと考えてよいのですねと問いかけられました。まさにその通りですと即答させていただきました。

さて、これまでも、ANMの改善は、皆さんのご尽力に寄るところが大であることをお伝えしてきました。投稿論文の質はもちろんですが、昨今の審査内容は本当にすばらしいと思います。著者・査読者・編集委員の三者

で、論文が磨かれていく過程を見るのは、編集委員長冥利につきます。

ANMのさらなる発展には、編集委員会・学会執行部の出版事業刷新に対する熱意のみならず、皆さんの研究への情熱継続や論文審査に対するボランティア精神の発揚が必須であると思います。度重なるお願いで恐縮ではありますが、一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

追伸 皆さん、リポジトリをご存じですか？ 各大学などの機関の図書館は、自機関の論文をデータベースとして残す取組をしています。これらはインターネット検索で引かかるようになっていきます。リポジトリに論文登録することを、論文をオープンアクセス化（学会員でなくても全文閲覧可能ということと理解ください）することに繋がります。これによる露出度増大は非常に大きいものがあります。またANMの露出度増大にも繋がります。リポジトリに登録することをグリーンオープンアクセスと表現いたします。ちなみに、SpringerのPDF（Springer HPにある掲載版）を登録することは認められていません。ご自分の掲載受理されたrevision原稿のfootnoteかacknowledgmentに、ANM何年何号何ページに掲載されているということを明記し、Springerサイトの当該論文のURLを貼り付けてリンクを張っておいてください。みなさん、ANM論文のリポジトリ登録を是非是非お願いします。（金沢大学 絹谷 清剛）

核医学編集委員会

委員長：	絹谷清剛	（金沢大学医薬保健研究域医学系核医学）
副委員長：	佐賀恒夫	（放射線医学総合研究所 分子病態イメージング研究プログラム）
委員：	犬伏正幸	（川崎医科大学 放射線医学（核医学））
	金田朋洋	（東北大学病院 放射線診断科）
	河邊讓治	（大阪市立大学大学院医学研究科 核医学科）
	河村和紀	（放射線医学総合研究所 分子認識研究グループ）
	久慈一英	（埼玉医科大学国際医療センター 核医学科）
	坂本攝	（獨協医科大学病院 PETセンター）
	田代学	（東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター）
	東達也	（滋賀県立成人病センター研究所）
	百瀬満	（東京女子医科大学 画像診断・核医学科）
	渡部浩司	（東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター）

「核医学」第50巻2号 平成25年5月31日 発行 本号定価 ¥1,800

編集兼発行者 絹谷清剛

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-45 （公社）日本アイソトープ協会本館3階

発行所 一般社団法人 日本核医学会

振替口座 00180-5-741770 番

電話東京 (03) 3947-0976 FAX (03) 3947-2535

E-mail : anm@xvg.biglobe.ne.jp

ホームページ : <http://www.jsnm.org/>

印刷所 株式会社 海川企画

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-51-1

電話 (03) 3806-0961 (代) FAX (03) 3806-0848

広告申込所 〒102-0071 東京都千代田区富士見2-12-8 電話 (03) 5226-2791 (代) 日本医学広告社